

なかのと未来ビジョン 概要版

つながりと明るい希望が持てるまちづくり

- 第3次 中能登町総合計画 2026 - 2035 -
- 第3期 中能登町総合戦略 2026 - 2030 -

なかのと未来ビジョンは、現状から町の重点課題を明確化し、それを踏まえたまちづくりの方向性を示し、個々の個別計画を推進していくための「共通の未来像」として住民と町が一体となって取り組み、地区間の連携と均衡ある発展を図りながら、次の世代により良い中能登町を引き継ぐことを目指して策定しました。

策定：中能登町 令和8年3月



■なかのと未来ビジョンの体系

なかのと未来ビジョンは、総合計画と、計画実現のための具体的な取組みをまとめた総合戦略の2章で構成し、総称として「なかのと未来ビジョン」とします。

基本理念

つながりと 明るい希望が持てるまちづくり

基本理念を踏まえ、以下の3つの視点を柱として総合的な町の取組み体系をまとめます



1 重点課題対策〈重点的に取り組む施策〉

- 第3期総合戦略 人口減少対策と防災減災対策について、重点的に取り組む具体的な戦略を示します …P24
- 復旧・復興プラン 町の創造的復興に向けた方針と取組みをまとめた計画です …別計画

町の存続に関わる喫緊の課題である「深刻な人口減少」と、「能登半島地震を踏まえた防災減災」を重点課題とし、その対策を最重点分野と位置づけ、推進します。限られた財源・人的資源をこれらの分野へ優先的に配分することで、町の活力を取り戻し、未来を紡ぐ施策を推進していきます。

2 町の基盤の維持〈町を守る施策〉

- 地域の安全・活力基盤の維持 …P15
- 住環境基盤の維持 …P17
- 健康・福祉基盤の維持 …P19
- 教育基盤の維持 …P20

あらゆる分野への投資拡大が困難な中であっても、住民生活の根幹を支える行政サービスや社会インフラについては、決して疎かにすることなく維持・継続します。医療、福祉、教育、生活道路など、町民が安心して暮らし続けるために不可欠な「町の基盤」を確実に守り抜き、安定したサービス水準の維持に努めます。

3 効率的行財政運営〈行政の改革〉

- ふるさと納税の推進 …P21
- 行財政の改革 …P22
- 公共施設等の適正化 …P23

庁内においてはコスト意識を持ち、歳出削減に取り組めます。事務事業の見直しやDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により、業務の効率化と経費の抑制を行うとともに、ふるさと納税の活用による歳入強化を図ります。無駄を省き「効率的行財政運営」によって生み出された余力を、重点施策や基盤維持へと還元する循環を生み出します。

具体的な取組内容は裏面へ



■中能登町の課題と目指すべき方向性

深刻な人口減少

国立社会保障人口問題研究所によれば、本町の総人口は、2060年には8,432人（現在の半数程度）になると推計されており、町の基盤機能を支えることが極めて困難になると予想されています。

特に、若年層の町外への転出を中心とした「転出超過」が顕著な課題となっています。

そこで本町は、町内で育った若者が「住み続けたい、戻りたい」と思える、あるいは町外の人が「住みたい」と思えるような環境と仕組みづくりを通じて、人口減少の抑制と地域の持続性の両立を目指します。

→重点課題対策①人口減少対策→

能登半島地震を踏まえた防災減災

町では、震災発生直後の緊急対応以降、被災状況の把握、住民支援、応急復旧に全力を注ぐとともに、令和7年3月には「中能登町復旧・復興プラン」を策定し、町の復興に向けた明確な方針と取組みの枠組みを示しました。プランは、町民の安全・安心を最優先に位置づけ、町の将来像を見据えた「創造的復興」を掲げるものであり、元に戻す復旧にとどまらず、震災前よりも豊かで持続可能な安心して暮らせるまちを目指すという強い意志が込められています。

→重点課題対策②防災減災対策→

総合計画 2026-2035

まちづくりの理念や基本的な方向性を制定する計画です。

1 重点課題対策〈重点的に取り組む施策〉

対策1 子育て環境の更なる推進による定住促進

対策2 地域産業の活性化と若者のUターンの促進による好循環

対策3 復旧・復興プランに基づく防災強化

対策1 子育て環境の更なる推進による定住促進 …P13

人口減少対策

町民アンケートでの満足度、今後も重要度が高い分野であることから、当町の特徴でもある「子育てしやすいまちづくり」を更に推し進め、定住促進につなげます。

対策2 地域産業の活性化と若者のUターンの促進による好循環 …P13

人口減少対策

「将来も中能登町に住みたい」若者は約6割ですが、その実現に向けて、就労環境をはじめとした地域産業の活性化や、若者が集える賑わいを創出します。

対策3 復旧・復興プランに基づく防災強化 …P14

防災減災対策

町内の各地域において必要な機能やサービスの再配置、集約を行い、災害時にも対応可能な強靱な地域ネットワークを構築し、特に、コミュニティの再構築や地域資源の再評価を通じて、町民同士の「つながり」を再生・強化し、地域における安心・共助の基盤を築きます。

2 町の基盤の維持〈町を守る施策〉

地域の安全・
活力基盤の維持

- (1) 地域コミュニティの維持発展 (2) 交通安全対策 (3) 防犯の強化
- (4) 消防・救急体制の整備 (5) 公共交通機関の利便性向上
- (6) 移住・定住及び関係人口構築の充実・強化 (7) 観光の振興

住環境基盤の維持

- (1) 道路の強靱化と機能強化 (2) 農業の振興 (3) 林業振興と森林育成
- (4) 上下水道の整備 (5) 廃棄物の適正な処理
- (6) 環境にやさしいまちづくりの推進 (7) 公園緑地の整備

健康・福祉基盤の維持

- (1) 保健・医療の充実 (2) 児童福祉の推進
- (3) 地域福祉の充実 (4) 高齢者・障がい者福祉の充実

教育基盤の維持

- (1) 学校教育の充実 (2) 生涯学習の振興
- (3) 生涯スポーツの振興 (4) 文化財の保護

3 効率的行財政運営〈行政の改革〉

ふるさと納税の推進

- (1) 制度活用の拡大と多様化 (2) プロモーション戦略の構築
- (3) 寄附金活用の可視化と発信

行財政の改革

- (1) DXの推進 (2) 業務の見直し・民間活用 (3) 経常経費の削減

公共施設等の適正化

- (1) 適正な保有施設量の検討 (2) 未利用地・跡地の利活用・売却

総合戦略 2026-2030

総合計画の推進に向け、重点的に取り組む施策や、各種数値目標を取りまとめる計画です。

重点事業（人口減少対策・防災減災対策）

基本目標1 子育てと暮らしの質を高め、選ばれ続けるまちをつくる

基本目標2 若者が戻りたくなる「しごと」をつくる

基本目標3 町民が安心して住み続けることができるまちをつくる



基本目標1【定住】子育てと暮らしの質を高め、選ばれ続けるまちをつくる…P31

主な方向性

主な施策

(1) 子育て支援の更なる充実

- 経済的支援の充実 ●相談支援体制の充実
- 仕事と子育ての両立支援

(2) 住宅取得による定住基盤の整備

- 宅地造成と民有地の活用 ●住宅取得支援

基本目標2【Uターン】若者が戻りたくなる「しごと」をつくる…P33

主な方向性

主な施策

(1) 魅力ある労働環境の創出

- 町内企業の魅力発信と雇用支援 ●多様な雇用の確保

(2) 町内企業の支援

- 企業向け各種支援制度

(3) 産業の振興

- 創業しやすい環境の整備 ●企業向け各種支援制度
- 持続可能な農業基盤の強化 ●農業の魅力向上と担い手確保

基本目標3【防災減災】町民が安心して住み続けることができるまちをつくる…P36

主な方向性

主な施策

(1) 防災対応体制・インフラの強化

- 発災時の初動体制の整理 ●災害時の情報伝達手段の普及
- 指定避難所及び福祉避難所の機能強化

(2) 各地区における自主防災力の強化

- 地区タイムラインの作成支援 ●地区防災計画の作成支援
- 地区防災訓練の実施支援

(3) 町民の防災意識の醸成

- 防災士の担い手確保と育成 ●家庭用備蓄の増加

中能登町企画情報課

メール：kikaku@town.nakanoto.ishikawa.jp

電話：0767-74-1234（代表） ファックス：0767-74-1300

住所：中能登町末坂9部46番地（総務庁舎）

※計画全体はこちらをご覧ください
なかのと未来ビジョン

<https://www.town.nakanoto.ishikawa.jp/soshiki/kikaku/3/5/sougou/10105.html>

